

山北地域の新しい風

地域おこし協力隊「有害鳥獣対策」

近年のイノシシ被害などの低減を目指し、越沢集落をモデルに住民の皆さんと対策実施中！

地域おこし協力隊「有害鳥獣対策」隊員

《活動概要》

地域と一体となって捕獲対策、技術の展開を図り農地等の被害低減を目指す

《名前》 神吉 能宜 (かんき よしなり)

《出身》 神戸市

《活動拠点》 越沢生活改善センター内

《連絡先》 090-1657-8271



①箱罠の点検中



②地域の皆さんと協力し電気柵を設置



③設置した電気柵の点検

これからの活動予定

- ・イノシシなどのこれまで実績のなかったものを捕獲し、地域で鳥獣被害に対抗できる自信を持つ。
- ・関係者、協力者を増やし、対策を実施できる範囲を広げる。
- ・捕獲及び対策の実施で地域内における鳥獣被害を低減させ、農地活動などへの影響低減を目指す。

～地域の皆さんへ～

豊かな自然が多く残る山北地区において、鳥獣対策は今後重要な役割を持つものと思います。まだまだ未熟ですが先行事例等を研修により習得しながら地域の力になっていきたいと思っています。

まずは捕獲できる自信と仲間づくりが大切だと感じているので、気軽に声をかけてください(^^)。

また、情報交換などもお待ちしております。



④箱罠で捕獲されたイノシシ

地域おこし協力隊を退任。今後も大好きな地域と関わりを

平成30年8月から小俣集落を拠点に日本国を中心とした交流事業の活動補助などによる、地域内外の橋渡しを目指し取り組んできた高橋千絵さん。この度、令和3年7月末をもって地域おこし協力隊の活動を終えました。

活動期間中は、日本国の登山道保全への協力や、小俣集落の魅力再発見のためのまち歩きなど、地域の皆さんと協力しながら取り組みを進めました。



②小俣集落まち歩きイベント

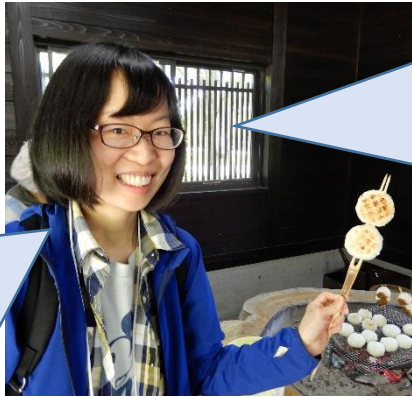
しかし、活動2年目から新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限され、思うように取り組みができず、悩んだ時もありましたが、周りの皆さんの温かい支えに助けられ活動を継続することができました。

コロナ禍の中、活動期間の終了を迎え、最後に小俣の魅力を地域の皆さん、そして地域外の人にも知ってもらいたいとフォトブックを作成し、想いを形に残すことができました。

今後は活動を通して大好きになった山北地区に残り、仕事をしながらゆくゆくは小俣集落で「小さなカフェ」の開業を目指したいとのこと。活動でお世話になった皆さんへ感謝し、引き続き地域に関わり、魅力を伝えていきたいと話してくれました。

登山と小俣の景観を楽しみ、一息つけるカフェが待ち遠しいですね。

3年間の活動にお力添えいただきありがとうございます。



大好きな山北で地域に関わっていきたいです。今後もよろしくお願いします。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の名称は聞いたことがあるけど、どんなことをする人なの？という方も多いと思います。

簡単に言うと、地域の課題解決に向けた取り組みや地域振興となる取り組みを、隊員が地域の皆さんと共に協力活動として行いながら、土地に溶け込み将来的には移住・定住を図る取り組みです。地域おこし協力隊の活動には地域の皆さんの参画、ご支援が重要な要素となり、皆さんの気軽なお声かけが隊員の活力となります。まちづくり協議会と同じく、地域の力になるよう活動を進めています。地域の新しい風、地域おこし協力隊をよろしく願います。

